



2025年 2月18日 火曜日
(令和7年)

知・技の創造

ものづくり大学発

▷111◁

■埼玉は日本の縮図

「埼玉学」という学問分野を「存じたろうか。」

初耳かもしれない。それも

そのはず、われわれが立ち上げたばかりの学問だ。実はこの学問、かなりの野心を秘めている。

射程は埼玉にとどまらない。実は、埼玉を通して日本全体の未来を映（え）り出す

うという試みだ。埼玉を「日本の縮図」として捉え、その

地理、文化、経済、風土等特性の映し出す21世紀の日本を考える。

そこにはいくつかの予期せぬ「上げ潮」が存在する。

一つが、近年大きな注目を集めた渋沢栄一である。渋沢

栄一といえば、深谷出身の偉大な実業家であり、1万円札

に登場するとは、もはや「日本の顔」だ。これはもう言う

までもないだろう。

もう一つ、映画『翔んで埼玉』(昭和堂)『写真』で

玉々琵琶湖より愛をこめて』ある。県内外の研究者や専門

の公開である。埼玉をテーマ家約30名が総力を結集し、そ

にした異色作であり、全国のれぞれの専門分野から埼玉の

話題をさらった。軽妙な中に地形、文化、歴史を語ってい

を上梓した。『大学的埼玉を

イド』(昭和堂)『写真』で

ある。県内外の研究者や専門

家約30名が総力を結集し、そ

れぞれの専門分野から埼玉の

話題をさらった。軽妙な中に地形、文化、歴史を語ってい

井坂 康志 教養教育センター教授

「埼玉学」を始める

埼玉の本質を宿す、ギャグやる。

演出の一つ一つを愛する県民は少なくない。

■その秘境的側面

昨年11月にものづくり大学教養教育センターは一冊の本



メディア「monogram」で筆者が行った連載も一部盛

いさか・やすし 1972年、加須市生まれ。東京大学

大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(商

学)。東洋経済新報社を経て、2022年4月より現職。ド



り込んでいる。

学問とは、特定の主題を深

く体系的に考察するのが一般

だが、埼玉学はどちらかとい

うと広く浅く、そしてまた

く折衷的だ。

というのも、その眼目は、

知識の獲得よりも現代人の視

座の刷新にこそある。埼玉を

東京の隣の秘境として、ある

いは21世紀のひな形と捉えた

らどっかだ。

見え方が少し違ってこない

だろうか。